

地域のデジタル化

【実績】

【安心・快適な暮らしの実現】

こども発達支援センターのオンライン診療では、来所が困難な再診利用者に向けたオンライン診療を実施し、目標の再診件数を達成した。さらに、自動運転の実装を見据えた実証実験として、自動運転移動サービス（レベル2）の実証実験を実施した。モビリティサービスの実証では、オンデマンド乗合タクシーの導入エリアを12地区に拡大し、目標を達成した。

【希望のライフスタイルの実現】

子育て分野では対面相談の希望が増え、オンライン相談や「おしゃべり広場」の利用件数は減少傾向にある。（仮称）子ども未来館の設置に向けては導入可能性調査が完了した。

【地域コミュニティのデジタル化と人材育成】

地域のデジタル化のモデル創出事業として、2か所の交流館でスマートフォンを活用する取組を支援した。LINE研修会で地域活動に役立つLINEの使い方を学ぶセミナーを実施し、目標参加者数を達成した。

【3年間の総括】

新型コロナウイルス感染症の拡大により、外出機会や地域活動が制限される中、健康増進アプリの導入やスマート保育の実施など、安心・快適な暮らしと希望のライフスタイルの実現に向けて取り組んだ。また、デジタルツールを活用した地域活動を推進するため、地域団体の役員等を対象にLINE研修会等を実施し、地域活動の運営に係る負担を軽減する取組も進めた。その他、持続可能な地域の移動手段を確保するため、自動運転移動サービスの実証実験に取り組んだ。

【評価結果一覧】

基本方針	施策	2022年度 評価	2023年度 評価	2024年度 評価
1 安心・快適な暮らしの実現	(1) 防災・見守りなどへのデジタル活用	B	B	A
	(2) 医療・福祉・介護分野へのデジタル活用	B	B	B
	(3) 自動運転やモビリティサービスの実証	B	A	B
2 希望のライフスタイルの実現	(1) デジタル技術を活用した健康状態の見える化	B	C	A
	(2) 子育て支援のデジタル化	B	B	B
	(3) デジタル技術などを体験する場の提供	B	A	A
3 地域コミュニティの デジタル化と人材育成	(1) 地域活動のデジタル化支援	A	B	B
	(2) 地域のデジタル人材育成	B	A	A

－ 評価方法について －

① 各施策に位置付く事業の目標達成率を算出し、点数化

5点（◎）：達成率 100 %以上

4点（○）：達成率 80 %以上 100 %未満

3点（△）：達成率 60 %以上 80 %未満

2点（×）：達成率 60 %未満

② 施策ごとに平均点を算出し、評価

A：平均 4.5 点以上

B：平均 3.5 点以上 4.5 点未満

C：平均 2.5 点以上 3.5 点未満

D：平均 2.5 点未満

基本方針1 安心・快適な暮らしの実現

施策名		2024年度 実施状況の総括					
(1)防災・見守りなどへのデジタル活用		<p>【民生委員のタブレット端末の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民生委員へタブレット端末を配布し、業務のデジタル化を推進した。 <p>【高齢者の緊急通報体制整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民生委員と連携して周知啓発に取り組み利用者は増加しているが、目標達成には至らなかった。 					
		評価		A			
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① 避難情報一括送信システムの導入（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	緊急速報メールや電話、FAX、SNSなど複数媒体へ情報を一括送信できるシステムを導入	導入スケジュール	実績値／目標値	—	導入／導入	終了	
			達成状況	—	◎		
② 民生委員のタブレット端末の活用（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	一部の民生委員でタブレットを使った会議、資料共有を実施し、全体への運用拡大を検討	タブレット導入台数	実績値／目標値	—	85台／100台（試験導入）	85台／85台（実証実験）	85台／85台
			達成状況	—	○	◎	◎
③ 高齢者の緊急通報体制整備事業	緊急時の通報装置と見守りセンサーを貸与し、24時間見守る体制を整備	利用者数	実績値／目標値	—	362人／940人	394人／970人	422人／500人
			達成状況	—	×	×	○

基本方針1 安心・快適な暮らしの実現

施策名		2024年度 実施状況の総括					
(2)医療・福祉・介護分野へのデジタル活用	【介護ロボット導入支援事業】	・介護事業者への介護ロボット等の導入支援を実施し、目標を達成した。					
	【視覚障がい者向け電子図書の導入】	・視覚障がい者の読書機会の拡大に向け、医療機関等と連携した当事者への周知の取組により、単年度での目標は達成した。					
評価	【こども発達支援センターオンライン診療】	・来所が困難な再診利用者に向けたオンライン診療は目標の再診件数を達成し、診察の利便性の向上に寄与した。					
B							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① 医療のデジタル化に係る実証実験の実施	遠隔医療を始めとした医療のデジタル化に係る体験会や実証実験等を実施	体験会及び実証実験の実施件数（累計）	実績値/目標値	—	—/1件	終了	
			達成状況	—	×		
② 介護ロボット導入支援事業	社会福祉法人等が介護ロボット等を導入する経費の一部を補助	介護ロボット導入事業所数（累計）	実績値/目標値	14事業所/14事業所	23事業所/19事業所	33事業所/28事業所	40事業所/33事業所
			達成状況	◎	◎	◎	◎
③ 視覚障がい者向け電子図書の導入	音声自動読み上げ機能に対応した電子図書を導入	利用者カード交付者数（累計）	実績値/目標値	—	—	18人/24人	20人/26人
			達成状況	—	—	△	△
④ こども発達支援センターオンライン診療	市外在住や育児など、来所が困難な再診利用者を対象としたオンライン診療を実施	オンラインでの再診件数	実績値/目標値	—	—	21件/33件	67件/50件
			達成状況	—	—	△	◎

基本方針1 安心・快適な暮らしの実現

施策名		2024年度 実施状況の総括					
(3)自動運転やモビリティサービスの 実証		【自動運転社会を見据えた実証実験の実施】 福山市レベル4モビリティ・地域コミッティでの委員の意見を取り入れながら、自動運転移動サービス（レベル2）の実証実験を実施した。 【モビリティサービスの実証】 ・オンデマンド乗合タクシーでは導入エリアを12地区に拡大し、目標を達成した。					
		評価					
		B					
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① 自動運転移動サービス実証事業	自動運転移動サービスの実装に向け、候補地や道路環境等の調査等を実施	自動運転移動サービスの実装に向けた取組	実績値/目標値	・運転席有人による実験（公道） ・運転席無人による実験（閉鎖空間）	・運転席有人による実験（公道） ・走行環境の調査	自動運転移動サービス（レベル4）に向けたルート等の調査の実施/自動運転移動サービス（レベル4）に向けたルート等の調査の実施	自動運転移動サービス（レベル4）に向けた実証実験の実施/自動運転移動サービス（レベル4）に向けた実証実験の実施
			達成状況	◎	×	◎	◎
② オンデマンド乗合タクシー実証運行の実施	オンデマンドモビリティシステムによる乗合タクシーの運行	導入エリアの拡大（累計地区数）	実績値/目標値	5地区/5地区	6地区/6地区	7地区/7地区	12地区/12地区
			達成状況	◎	◎	◎	◎
③ 新モビリティサービス実証実験の実施	グリーンスローモビリティ等と多様なサービスを連携させる実証実験の実施	実証実験の実施件数（累計）	実績値/目標値	4件/4件	5件/5件	新モビリティサービスの実装に向けた協議会の設立/新モビリティサービスの実装に向けた協議会の設立	運行ルート案の検討/新モビリティサービスの実装
			達成状況	◎	◎	◎	×

基本方針2 希望のライフスタイルの実現

施策名		2024年度 実施状況の総括					
(1)デジタル技術を活用した健康状態の見える化		<p>【健康増進アプリの導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリの新規登録キャンペーンの実施、フォトコンテスト及びイベントポイント付与等の取組が後押しし、登録者数が前年度比約1.4倍となった。 <p>【フレイルチェックのデジタル化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式LINEでの配信により、大幅にフレイルチェック実施者が増加し、目標を達成した。 					
評価							
A							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① 健康増進アプリの導入（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	健康増進アプリを通して市民の健康づくりに対する意識向上と生活習慣の改善を図る	アプリのユーザー登録者数	実績値/目標値	—	2,585人/10,000人	4,752人/6,500人	6,648人/6,600人
			達成状況	—	×	△	◎
② フレイルチェックのデジタル化（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	スマホ等アプリで市民が気軽に診断し、健康状態を把握できる	フレイルチェック実施人数	実績値/目標値	4,971人/7,260人	11,999人/9,660人	9,325人/13,550人	9,558人/8,700人
			達成状況	△	◎	△	◎

基本方針2 希望のライフスタイルの実現

施策名		2024年度 実施状況の総括					
(2)子育て支援のデジタル化		<p>【スマート保育の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート保育を公立の市内全施設に導入した。 <p>【オンライン相談・オンライン「おしゃべり広場」の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による行動制限等の緩和に伴い、対面での相談を望む人が多く、利用件数は目標を達成できなかった。 					
評価							
B							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① スマート保育の実施（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	保護者との連絡などのデジタル化を実証し、順次市内施設へ導入	導入施設数（累計）	実績値/目標値	2施設/2施設	7施設/7施設	46施設/46施設	53施設/53施設
			達成状況	◎	◎	◎	◎
② 子育て支援アプリの機能拡充（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	子育て支援アプリに休日保育予約機能を拡充	アプリからの申込率	実績値/目標値	—	市LINE公式アカウントの予約機能を活用（24%）/40%	終了	
			達成状況	—	△		
③ オンライン相談・オンライン「おしゃべり広場」の開催	オンラインを活用した子育て相談や座談会を実施	オンラインによる講座実施数	実績値/目標値	18件/5件	13件/18件	8件/20件	1件/22件
			達成状況	◎	△	×	×

基本方針2 希望のライフスタイルの実現

施策名		2024年度 実施状況の総括					
(3)デジタル技術などを体験する場の提供	<p>【「びんごキッズラボ」の開催】</p> <p>・地元の大学及び企業との連携やコンテンツ内容の充実などに取り組み、目標の1,000人を大きく上回る1,706人の参加者を集めることができた。</p> <p>【子ども未来館構想の推進】</p> <p>民間事業者へのサウンディング調査などを経て導入可能性調査が完了した。</p>						
	評価	A					
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① 「びんごキッズラボ」の開催（「産業のデジタル化」より再掲）	子どもを対象としたデジタル技術等体験イベントの開催	参加者数	実績値/目標値	579/500人	1,399人/1,000人	1,905人/1,000人	1,706人/1,000人
			達成状況	◎	◎	◎	◎
② 子ども未来館構想の推進	科学やテクノロジーに触れることができる（仮称）子ども未来館を設置	（仮称）子ども未来館の設置	実績値/目標値	基本構想の策定/基本構想・基本計画の策定	基本計画の策定/基本計画の策定、導入可能性調査	導入可能性調査完了、要求水準書等骨子作成/導入可能性調査、要求水準書等の作成	
			達成状況	×	○	○	

基本方針3 地域コミュニティのデジタル化と人材育成

施策名		2024年度 実施状況の総括					
(1) 地域活動のデジタル化支援		【地域活動のデジタル化支援】 ・地域のデジタル化のモデル創出事業では、2か所の交流館でスマートフォンを活用したイベントの実施や公式LINEの活用などを支援した。					
評価							
B							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① 地域活動デジタル化意識醸成事業（びんごデジタルラボ）	地域団体を対象にデジタル化のセミナーを開催	セミナーへの参加者数（累計）	実績値/目標値	—	248人/80人	381人/330人	他事業へ統合
			達成状況	—	◎	◎	
② 地域情報のデジタル化（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	地域自らがデジタル技術を活用した情報伝達、発信ができるよう支援	希望する学区への支援	実績値/目標値	14学区/支援14学区	46学区/ニーズ調査の検討/希望する学区を随時支援	59学区/ニーズ調査の検討・希望する学区を随時支援	64学区/ニーズ調査の検討・希望する学区を随時支援
			達成状況	◎	◎	◎	◎
③ 地域のデジタル化のモデル創出事業	交流館の活動を通じてデジタル機器に触れる機会をつくることで、日常的な利用を習慣化する	モデル学区数	実績値/目標値	—	—	2学区/3学区	2学区/2学区
			達成状況	—	—	△	◎
④ まちづくりパスポート事業の拡充	対象を大人まで拡大することと合わせて、デジタル版まちづくりパスポートを導入する。	ボランティアに関心のある市民の割合	実績値/目標値	—	—	—	—/67%
			達成状況	—	—	—	×

基本方針3 地域コミュニティのデジタル化と人材育成

施策名		2024年度 実施状況の総括					
(2) 地域のデジタル人材育成		<p>【デジタルサービス講習会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス等を理由とする開催中止があったほか、通信事業者が主体の講習会も多く実施されたことなどを考慮すると、当初設定した目標は十分に達成したと考えられる。 <p>【地域団体向けLINE研修会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動に役立つLINEの使い方を体験しながら学ぶセミナーを実施し、目標の参加者数を達成するなど、地域団体の役員等の人材育成に寄与することができた。 					
		<p>評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</p>					
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① デジタルサービス講習会の実施（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	デジタル活用に理解や技術が不十分な人を対象に、講習会を開催	講習会実施	実績値/目標値	23%/10%	40%/30%	67%/65%	94%/100%
			達成状況	◎	◎	◎	○
② 高齢者デジタル活用支援事業（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	高齢者を対象に、スマホの購入、使い方などを支援	事業でスマートフォンを購入・買い替えた高齢者数	実績値/目標値	—	7,946人/10,000人	3,826人/3,000人	終了
			達成状況	—	△	◎	
③ 地域向けLINE研修会（デジタルリーダー養成講座）の開催	地域活動に役立つLINEの使い方を学べる研修会を開催	研修会への参加者数（累計）	実績値/目標値	—	248人/80人	381人/330人	484人/470人
			達成状況	—	◎	◎	◎